



安佐中学校だより

校訓 自主 敬愛

平成25年3月

竹のようにしなやかに大地に根を張り強く育つ安佐中に — 巣立ちゆく3年生に、受け継ぐ1、2年生に—

本校の校章は5枚の若竹の葉が組み合わせられ作られています。

バックにある2枚は、当時、安古市町と佐東町の地域の願いをこめて創られた学校であること、また、中の字を囲む3枚は、人間が追求する「真善美」を、また「知徳体」のバランスのとれた人を意味しています。校章には、本校の歴史と伝統が込められています。

竹は、昔から雪で倒れても折れることはなく、どんな困難にも耐える不屈の精神を現しています。5枚の葉が組み合わせられていることは、校訓である「自主 敬愛」の精神が生かされている立派な校章です。

3年生は12日（火）巣立ちの日を迎えます。3回の春夏秋冬の彩りを味わいながら、家族や地域の方々に見守られ、先生方や仲間と様々な経験を積み成長してきました。その逞しく成長した姿は「さすが3年生！」と私たちに感じさせてくれるものでした。次を担うのは2年生。1年生。

竹のしなやかさと強さは、節がしっかりとあるからです。

進学、進級を迎え節目を迎える今。しっかりと自分を見つめ、戒めて頑張りましょう。

吹奏楽部が松井市長を表敬訪問させていただきました！

2月25日（月）、吹奏楽部は松井広島市長に昨年11月25日に行われた全日本マーチングコンテスト金賞受賞とともに「ステージ演奏とマーチングの両立、そして学業と部活の両立を目指して日々取り組んでいます。」と報告をさせていただきました。松井市長からは「一人では限られています。多くの人と力を合わせてできたことはこれからの人生の糧になります。学校や地域全体のおかげを感じてこれからも頑張ってください。」と、温かいお言葉をいただきました。

※ 3月7日（木）夜9時55分から4分間程度、広島テレビで活動が報道されます。



学校協力者会議委員の皆様。大変、お世話になりました！！

地域に開かれ、信頼される学校創りのために、地域の方々から意見をいただく「学校協力者会議」があります。

今年度も、竹本 康明委員長をはじめとする11名の委員の皆様には、学校の行事や授業を参観していただきながら、学校の様子や生徒・保護者・教員アンケート集計結果などから貴重なご意見をいただき取り組みを進めることができ心から感謝しております。ありがとうございます。

【委員の皆様】

竹本	康明様（委員長）
梶矢	文昭様（副委員長）
鳴本	政晴様
元村	勉様
為汲	玲子様
松野	佐代子様
遠藤	玉喜様
新谷	選文様
田村	和夫様
谷田	正子様
濱本	浩様